

形質細胞様尿路上皮癌の一例

公立松任石川中央病院 病理検査室

○村田由美子(CT),池田千晃(CT),大場 恵(CT),

白鳥 絢(CT),吉野敦子(CT),

同 病理診断科

ニッ谷千鶴(MD)

福井大学医学部附属病院 病理診断科/病理部

今村好章(MD)

要約

形質細胞様尿路上皮癌は浸潤性尿路上皮癌の稀な亜型の一つで、腫瘍細胞は形質細胞に類似し予後不良である。今回われわれは形質細胞様尿路上皮癌の一例を経験したので細胞学的特徴を加え報告する。形質細胞様尿路上皮癌は稀であるが悪性度が高いため、細胞診標本で特徴的な細胞所見を得られた場合は形質細胞様尿路上皮癌を鑑別診断としてあげる必要があり、腹腔内進展をきたす頻度が高いため腹水細胞診も重要であると考える。